

町議選挙後、初の定例議会 一般質問は8名の議員のみ

6月18、19日、町議会6月定例議会一般質問が行われました。

町議会は4月の改選で定数内立候補のため、前回に続き無投票となりました。そのため選挙公報が発行されず、候補者の町政に対する考えや人柄などを知ることが出来ませんでした。

今回の一般質問は今後4年間の町議としての、意気込みや決意を垣間見る機会として注目しましたが、議長を除く11名の議員のうち、質問に立ったのは8名にすぎませんでした。

一般質問は議員として町政をチェックする、最も重要な仕事であり町民にアピールする場ですが、その権利を行使しない理由は全くありません。

今年度の議会費予算は6193万円ですが、議員報酬・期末手当・議員共済負担金の合計は4849万円で、実に

78%に当たります。単純計算で議員一人当たり年間404万円となります。一般質問をしない議員は、町民に説明をしなければならぬと考えます。

服部議員は①総合教育会議、②子育て世帯の国保被保険者への支援、③高齢者の足

薄井議員は①遊休農地を利用した人口増対策、②「花とハーブの里池田町」を目指す取り組み、③交流センターの利用料減免措置などについて、を質問しました。詳細は両議員の報告文をご参照ください。

議会傍聴者

日本共産党カラオケ同好会 開催

6月7日（金）、日本共産党カラオケ同好会は、カラオケ喫茶「円」で「ウソと忖度の政治を変えよう！カラオケDE安倍さんにさようならを」を開きました。

参加者は6人。主催代表の自転車わだち店主、秋吉さんが参議院選挙で野党共闘を進めて自民公明などを少数にして今の政治を変えようと訴えました。

こういう催しには初めて参加の満洲棄民経験者Aさんが懐メロ「蘇州夜曲」声が出ないと言って嫌がっていたTさ

険者への支援、③高齢者の足の確保を、④高齢者の特殊詐欺防止対策、を質問。

薄井議員は①遊休農地を利用した人口増対策、②「花とハーブの里池田町」を目指す取り組み、③交流センターの利用料減免措置などについて、を質問しました。詳細は両議員の報告文をご参照ください。

議会傍聴者

連載 日米地位協定を考える⑧ 最終回

佐久・上田の低空飛行も

日米合意の範囲と米軍

沖縄翁長前知事は「沖縄では憲法の上に日米地位協定がある」と言いましたが、沖縄だけではありません。

県内の佐久や上田で米軍輸送機が低空飛行し、市民に恐怖や不安を与えた事件について、在日米軍は「日米両政府の合意や規定に即している」と言っています。

日米の合意は「住宅密集地では建物の上端から300メートル、住宅のない地域は地上150メートル以上を飛行」との日本の航空法を適用と規定しますが、佐久地方の低空飛行は「合意を守ってい

る」と米軍は回答。

住民からは「規定を守っていない」との疑問が出ています。

昨年12月の池田町議会は、池田九条の会が「日米地位協定の見直し」を求めた陳情を全会一致で採択し、衆参両院送付しました。

朝日や信毎も社説などで、政党も見直しを方針決定していると報じています。

穀田党国対委員長を迎え 演説会

市民と野党の共闘で 希望の持てる政治を

訴えに共感

6月23日は74年前、沖縄住民の4人に1人が戦死した「沖縄慰霊の日」、国策により国民の命を犠牲にすることは二度とあってはならないと決意した日でもあります。

この日、安曇野スイス村サ

米軍に基地を提供しているヨーロッパの国々は、国内法を守らせる取り決めをしています。主権を侵害されたままの協定を結んでいる国は日本だけです。

連載は今回をもって終わりますが、新聞に政治評論家の「飲心を買ひ、品なく過剰にへつらう」と書かれる首相では、米大統領に真つ当なことは言えないかもしれません。

しかし主権者として正当なことを首相に強訴しようではありませんか。

池田九条の会 米沢敏夫



杉尾秀哉氏（立憲民主党）、中川博司氏（社民党）、又坂常人氏（信州市民アクショ）、ながせ由希子氏（党県書記長）、鮎沢聡氏（党県委員長）の訴えと決意表明に会場から大きな声援が送られました。

各演者の方々の訴えには現状の課題や今やるべきことなどが鮮明に打ち出されました。

また、今回の参議院選挙における32すべての1人区で野党統一が実現した政策も示されました。

○憲法を守り、アメリカの意

向に添った戦争のできる国には絶対しないこと。

○沖縄の米軍辺野古基地建設を止めさせる。また基地に伴う米軍優遇の協定見直し。

○原発の再稼働は止め、再生可能エネルギーの促進。

○10月の消費税増税で国民の暮らしは良くなる。中止とする。（GDPマイナス）

○ジェンダー（社会的性別のこと男女・障がい者など）平等推進。

○国連の核兵器禁止条約への調印・批准を求める。

日本共産党国会对策委員長の穀田恵二さんは、野党間で230回の合同ヒヤリングをおこなったことなど、「統一こそ力なり」を信念に、しがらみを超えた努力をされたことを京都弁で楽しく話されました。

財源に関しては、大企業や富裕層・大株主優遇制度の見直しを図ることかなりの財源を確保でき、子育て・社会保障の充実をすすめることは可能であると理解できました。

3丁目 薄井百子

2019七夕まつ いのちと平和の フェスティバルin大北

「いのち」と「平和」を求めるみなさん、子どもからおとなまで誰もが楽しめるイベントです。ピクニック気分でお気軽にお出かけください。

7月7日（日） 10:00～15:00



大北地区平和大行進 一歩でも一緒に歩きましょう

大北地区へは7月2日（火）、3日（水）に入ります。

3日は8時50分に小谷村サンティン裏駐車場を出発して小谷村役場で集会、白馬村に入り役場で集会、12時半にグリーンスポーツの森で解散です。

3日の日程は以下です。

7月3日（水）	
9:00	大町市役所（集会） 常盤、松川を經由して池田町へ
14:30	池田町役場着（集会）
14:50	役場出発
15:40	池田町ハーブセンター